「妻、小学生になる。」弁護士伊須慎一郎

死後の世界があるかどうかは分かりませんが、大切な人を失った後、残された人はどう生きていくのか。
下を向いて背を丸めて生きていた圭介（堤さん）が、最後は空を見上げて前を向いて生きていく。
圭介は夕日に照らされ、そこまで10年もかかりました。

最後のシーンを見て、韓国ドラマ「トッケビ～君がくれた愛しい日々～」で、ウンタク（キム・ゴウンさん）がキム・シン（コン・ユさん）に「残された人は一生懸命生きないと」「ときどき泣いても、また笑ってたくましく生きる。愛してくれた人への礼儀よ」と、現世での別れを告げるシーンを思い出しました。

ロシア軍がウクライナに侵攻して38日目。
国連人権高等弁務官事務所は、ロシアによる軍事侵攻が始まった先月24日から今月24日までに、ウクライナで少なくとも1081人の市民が死亡したと発表しました。
このうち93人は子どもだと発表しています。
市民だけでなく、兵士にも生きる権利はあるはずで、いち早く停戦合意が交わされ、停戦合意が遵守されることを望みます。

日々、生きる意義を考えています。

弁護士伊須慎一郎